

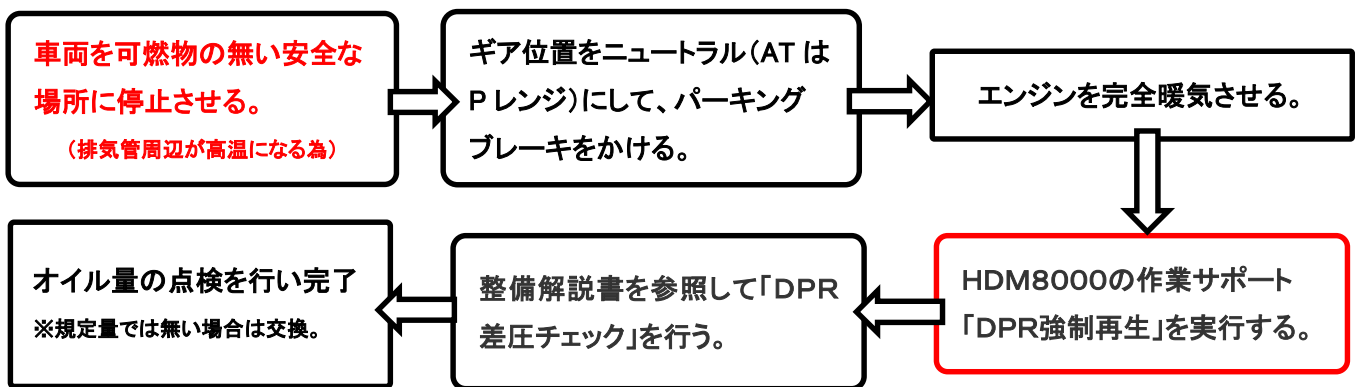
日立ダイアグモニタHDM-8000操作ガイド
日野/DPR 再生/例:2005年式デュトロ(XZU424M/エンジン N04C)

注意事項/必ずお読みください

- 実際の作業に当たっては必ず自動車メーカー発行の整備解説書で作業手順、作業上の注意点をご参照の上、作業を行って下さい。
- 自動車メーカーにより予告なく車両の仕様が変更される為、本資料に掲載する機能が使用できない場合がございます。

1. DPR 強制再生の流れ

- DPRフィルタに一定量のPMが堆積してPMを燃焼する必要がある場合、またはDPRフィルタの状態を確認する際、スキャンツールの作業サポート機能「DPR強制再生」を使用します。
- 下記の流れで「DPR強制再生」を実行します。



2. HDM8000操作手順(作業要領含む)

以下の手順は車両側のエンジンコントロールユニットにDTCが記憶されていない状態での操作手順です。エンジンのコントロールユニットにDTCが記憶されている場合、下記手順が実行出来ない場合がございます。

事前にHDM8000でエンジンのDTCの有無をチェックし、DTCが表示されている場合は整備解説書を参照の上、該当項目の点検整備を行ってから以下手順を行ってください。

【手順001/車両側の準備】

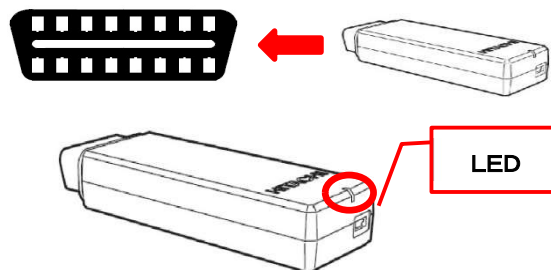
下記を行ってください。

- ① 周囲に可燃物が無く、換気が十分に行える安全な場所に車両を停止させてください。(DPR強制再生中は排気管周辺が高温になる為、特に排気管回りに可燃物が無いが、ご注意ください)
- ② シフトレバーがニュートラルであることを確認してください。(AT車はPレンジ)
- ③ パーキングブレーキをかけてください。
- ④ エンジンをアイドリング状態にしてください。尚、アイドリングコントロールノブによってエンジン回転数が上がっている場合は、左いっぱいに戻してエンジン回転数を下げてください。
- ⑤ アイドリングストップ装着車はアイドリングストップスイッチをOFF(解除)してください。
- ⑥ PTO装着車はPTO作動を停止させてください。

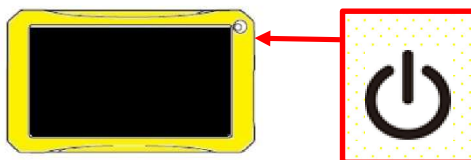
(次ページに続きます)


【手順002/車両へのHDM-8000の接続と起動】

- ①HDM-8000のインターフェースボックスを車両側の診断コネクタに接続して下さい。
- ②HDM-8000のインターフェースボックス本体側LEDが緑色に点灯していることを確認して下さい。



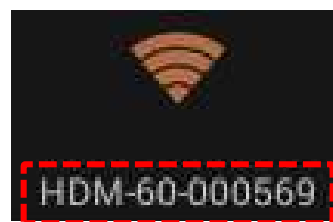
- ③HDM-8000のタブレット本体の右側面にある電源スイッチを押して、タブレットを起動して下さい。



- ④タブレットが起動したら画面上のカギのマーク  に指を当てて右側にスライドさせて、画面ロックを解除して下さい。
- ⑤タブレットとインターフェースボックスが無線(Wi-Fi/ワイファイ)で接続されているか確認を行います。まず、「車両一覧」画面が表示されましたら画面右上に指を当てて、そのまま下におろして「クイック設定ツール」を表示して下さい。



- ⑥「クイック設定ツール」内にあるWi-Fi(ワイファイ)のアイコンが右図の様に色が反転した状態で表示され、その下にHDM8000のインターフェースボックスのシリアル番号(右図の破線で囲われた文字列)が表示されていれば無線での接続がされております。次の【手順002】に進みます。



【手順003/クイック設定ツールの終了】

「クイック設定ツール」の下端部に指を当てたまま上方に上げて「クイック設定ツール」を終了して下さい。



(次ページに続きます)


【手順004/車両側の完全暖気】

継続してエンジンの暖気を行ってください。(手順004に進みます)

【手順005/「故障診断」のタップ】

① タブレットの「車両情報」の欄(赤の破線で囲われた部分が空欄であることを確認して下さい)。(※1、※2)



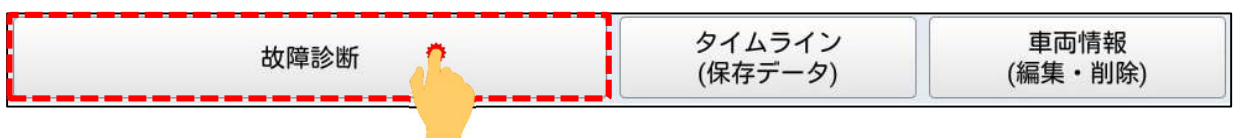
※:「車両情報」の欄に作業中の車両と異なる車両の情報が表示されている場合は画面下部の「戻る」
 ボタンをタップすると空欄になります。

② 画面上部の「故障診断」ボタンをタップして下さい(【手順005に進みます】)。

【アプリ設定をフル機能モードに設定している場合】



【アプリ設定を故障診断モードに設定している場合】



【手順006/メーカー選択】

画面に「接続中...しばらくお待ちください」が表示されたあと「メーカー選択(診断ソフトの選択画面)」が表示されます。画面を上方向にスクロールさせて「日野」をタップして下さい。



(次ページに続きます)

【手順007/車両分類の選択】

画面にソフト名が表示され「イニシャライズ中・・・」と切り替わり、その後、「車両分類」の画面が表示されます。入庫車両に該当する車両分類をタップして選択してください。 (【手順008】に進みます)



【手順008/トラックの種類を選択】

「トラック」が表示されましたら入庫車両に該当する項目をタップしてください。 (【手順009】に進みます)



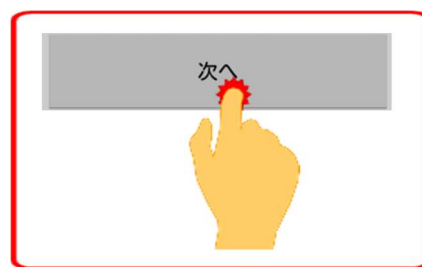
【手順009/排ガス記号の選択】

「排ガス記号」が表示されましたら、車検証を参照して一覧から該当する排ガス記号をタップしてください。 (【手順010】に進みます)



【手順010/車両情報の表示】

「接続確認中しばらくお待ちください」と表示された後、車両情報(VINなど)が表示されましたら画面左下の「次へ」をタップしてください。 (【手順011】に進みます)



【手順011/日野メインメニューで作業サポートの選択】

「日野メインメニュー」が表示されましたら、一覧から「作業サポート」をタップしてください。 (【手順012】に進みます)



(次ページに続きます)

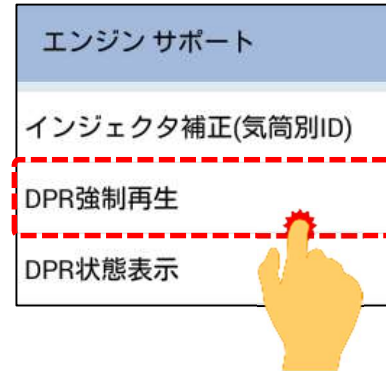
【手順012/作業サポート画面でのシステム選択】

「作業サポート」の画面が表示されましたら「エンジン」をタップしてください。(【手順013】に進みます)



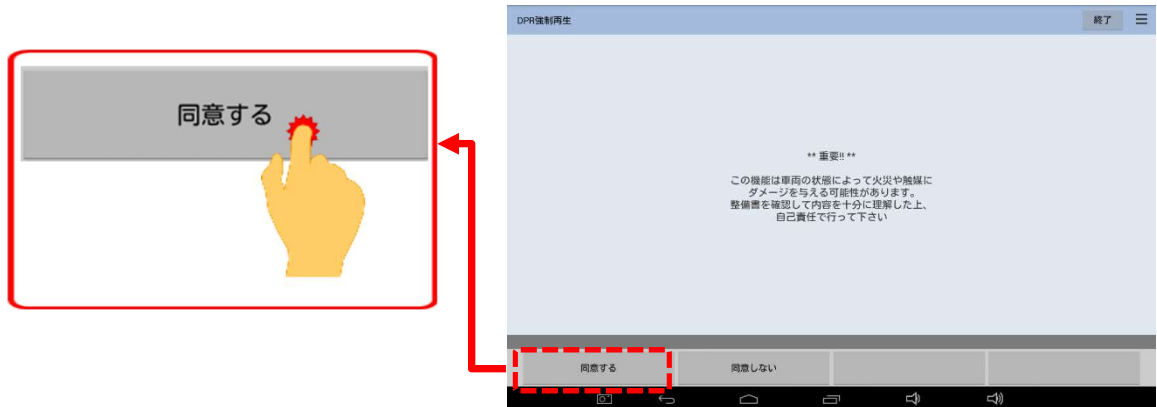
【手順013/DPR強制再生の選択】

「エンジンサポート」の画面が表示されましたら一覧から「DPR強制再生」をタップしてください。(【手順014】に進みます)



【手順014/作業サポート全般における注意喚起画面】

作業サポート全般における注意喚起のメッセージが表示されます。内容をご確認の上、同意頂けましたら、画面左下の「同意する」をタップしてください。(【手順015】に進みます)



【手順015/DPR強制再生における注意喚起画面】

DPR強制再生における注意喚起のメッセージが表示されます。内容をご確認の上、画面左下の「実行」をタップしてください。(【手順016】に進みます)



(次ページに続きます)

【手順016/DPR強制再生の実行】

DPR強制再生が実行されエンジン回転数が上昇し、関連項目のデータモニタが表示されます。車両の状態によって次の画面が表示されるまで15～30分程度かかります。(【手順017】に進みます)

※車両によっては車両側DPRスイッチを押してからDPR強制再生が実行される場合があります。



項目	値	単位	最小値	平均値	最大値
再生SW ON7分	再生中				
DPR 強制再生状態	再生中				
エンジン回転数	1192	rpm	982	1195	1206
差圧	1.18	kPa	0.55	0.90	1.18
DPR排気温(IN)	277.5	°C	105	277.5	277.5
DPR排気温(OUT)	176.2	°C	115	176.2	176.2
燃料噴射量	2.23	mm3/st	0.53	2.74	5.86
エンジン冷却水温	65	°C	55	61	65

【手順017/正常完了画面の表示】

DPR強制再生が終了すると「正常完了しました。アイドル状態になるまでお待ちください。」と表示されます。アイドル状態になったことを確認されましたら画面左下の「次へ」をタップしてください。



【手順018/掃気運転の準備】

「掃気運転を10分間行います」と表示されます。画面に表示された手順(※)を行ったあと、画面左下の「実行」をタップしてください。(※事前にアイドル時のエンジン回転数を確認後、アイドルボリュームを回してください)



【手順019/掃気運転の実行】

掃気運転が約10分間実行されます。次のメッセージが表示されるまで、お待ちください。

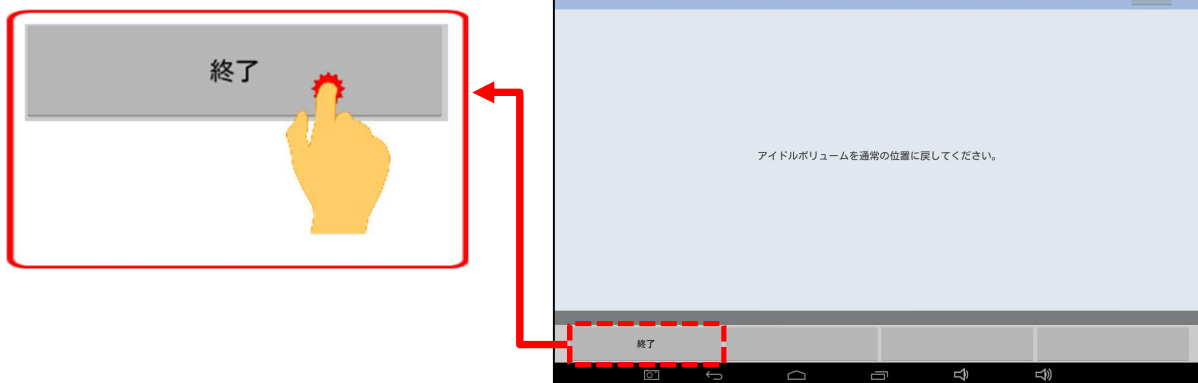


項目	値	単位	最小値	平均値	最大値
再生SW ON7分	通常				
DPR 強制再生状態	未実施				
エンジン回転数	1193	rpm	1186	1197	1210
差圧	1.05	kPa	1.05	1.18	1.43
DPR排気温(IN)	240.6	°C	240.6	240.6	380
DPR排気温(OUT)	294.4	°C	294.4	294.4	480
燃料噴射量	7.62	mm3/st	6.05	8.12	9.38
エンジン冷却水温	61	°C	61	64	70

(次ページに続きます)

【手順020/掃気運転の終了】

「アイドルボリュウムを通常的位置に戻してください」と表示されましたら車両側のアイドルボリュウムを回して実行前のアイドル回転に戻してください。「終了」をタップすると作業サポートメニュー画面に戻ります。



【手順021/DPR 差圧チェック】

整備解説書を参照の上、作業サポート機能「DPR 差圧チェック」で DPR 差圧の点検を行ってください。

【手順022/エンジンオイルのチェック】

- ① HDM8000のタブレットをOFFにして、IFボックスを車両から取り外してください。
- ② エンジンオイルを点検し、規定量では無い場合、交換を行ってください。(完了)